

タイトル	著者名	内容紹介
世界はきみが思うより	寺地はるな	あるきっかけで他人が作った料理を受け付けなくなってしまった冬真は、同級生の時枝くんに難病を抱えた妹がいるという噂を聞く。その時枝くんの家まで行ったことがきっかけで、冬真と時枝くんは仲良くなっていくが…。
暁 星	湊 かなえ	夜明け前が一番暗い。だが必ず日は昇る。そこには輝く星がある。文部科学大臣刺殺事件の犯人による手記が語る真実。
アフター・ユー	一穂 ミチ	遠い地で、見知らぬ男と海に消えた恋人。互いに秘密を抱えながら暮らした男女に訪れた突然の別れ。一緒に過ごした10年間は嘘だったのか？
今日も私は、ひとつの菓子を	高田 充	「いったいあんたはんは誰のために、何のために菓子をこしらえたはるんや」。「求む、菓子職人」の貼紙をきっかけに、京都島原の有名和菓子店で修業を始めた雄司は、職人として成長していく。
最後の一色 上	和田 竜	「信長か。珍しゆうもない。ざらにいる男よ」織田信長による天下布武の軍団が日本全土を侵略していくなか、その怪物は戦場にあらわれた。名を丹後の守護大名、一色義員(いしきよしかず)の嫡男・五郎と言った。
最後の一色 下	和田 竜	味方にも秘策を明かさぬ一色五郎が進もうとする先は、果たして織田家の壊滅か、一族の破滅か。戦国時代最後の怪物が覚醒する。